



# でん太の 教えてドクター

その⑬ 自分のお口の中を知り  
健康管理計画を立てよう



お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長

**でん太** ドクター、デンタルドックの検査結果を聞かせてもらったけれど、次はどうすればいいの？

**Dr.** まず検査結果報告の内容を、患者さん自身がチェックしていくことだね。まずお口の中における4つの病気について、そしてそれらの病気の原因と自分のお口の中の状態について理解したかどうか確認しないとね。わからないところがあれば医師に再度説明してもらってちゃんと理解してから、今後お口の健康にどのように取り組むかを考えていくんだよ。

**でん太** 納得できるまで十分な説明を受けてからどうするかを自分で決めていくんやね。

**Dr.** ひとりひとり問題の程度や量が違うから、取り組み方もそれぞれ変わってくるんだよ。

**でん太** そうか、痛いところだけ取りあえず治してほしいと言う人もいれば、これから先もずっと健康な歯で過ごしたい人もいるだろうしね。

**Dr.** 応急的な問題解決を選ぶ患者さんには、必要最小限の機能回復治療をすることになるね。生涯にわたり自分の歯を残し健康に過ごしたいという患者さんは予防中心型の方針で取り組んでいくんだよ。どちらにしてもその結果についても十分納得した上で患者さんが決めることなんだよ。

**でん太** 予防中心型の方針で取り

組む場合、どんなふうにしてほしいのかを具体的にお医者さんに言わないといけないね。

**Dr.** そこが大事な点でもあり難しいところなんだよ。自分にとって最適・最善のお口の状態を設定しないとね。

**でん太** その上で治療方法をお医者さんに考えてもらうんやね。

**Dr.** その時に配慮して欲しい要件を医師に伝えることも忘れてはいけないよ。

**でん太** 配慮してもらうことってどんなことなの？

**Dr.** たとえば歯を抜かずにできるだけ自分の歯を活かしてほしいとか、入れ歯にはしたくないとか、矯正もしてほしいといったことだよ。治療方法についても患者さんの希望があり、治療にかかる時期や時間についても仕事や生活のスケジュールがあるし、費用の面でも予算があるしそれぞれの状況があるからね。

**でん太** 自分の希望や意見を言うことが患者の権利であり責任でもあるんやね。

**Dr.** 医師も自分自身の経験や能力も考慮したうえで、医学的なエビデンス（証拠）に裏づけされた治療計画を立てていかないといけないんだ。

**でん太** 正しい手順をふみ、納得のいく治療でいつまでも健康な歯で過ごさないとね。

# 検査結果報告を終えて

▼検査結果の内容の次の点について  
チェックしてみましょう

お口の中における4つの病気は	理解した	わからない
それらの病気の原因は	理解した	わからない
現在のあなたのお口の中の		
①虫歯について	理解した	わからない
②歯周病について	理解した	わからない
③不良な治療について	理解した	わからない
④咬み合わせについて	理解した	わからない

▼あなたのお口の中の現状を  
よくご理解いただけましたか？

はい  
いいえ  
解説の時間を再度  
設定しましょう

▼あなたのお口の健康についてどのよう  
に取り組みたいとお考えですか？

生涯にわたり  
自分の歯を残し  
健康に過ごしたい  
応急的な  
問題解決でよい  
必要最小限の  
機能回復治療です

▼あなたが必要とお考えの治療は？

予防中心型の治療です

▼そのためにすべき事は？

あなたにとって、  
最適・最善のお口の  
状態を設定しましょう  
（※目標を設定しましょう）  
治療方法の選択  
治療時間の設定  
治療時間の調整  
治療費用の確認  
（※具体策を決定しましょう）

予防プログラムの開始

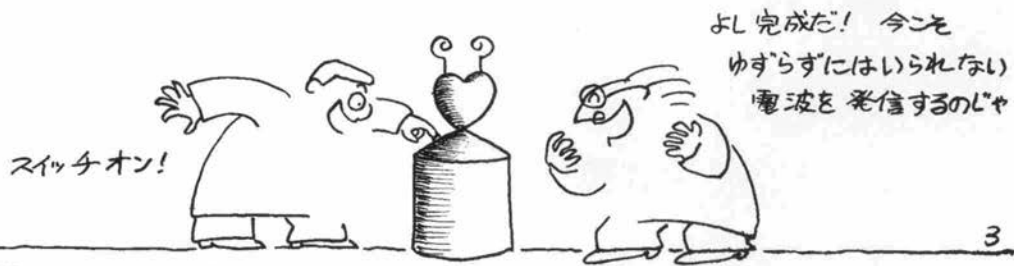
## 足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33  
TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056  
e-mail.adachi@kba.att.ne.jp  
http://ado.pr-business.net

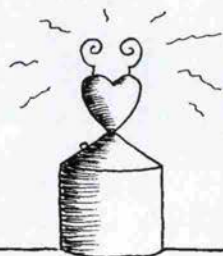
※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。

■足立 優（あだち まさる）1960年生まれ。大阪歯科大学卒。1988年米国留学後、神戸市東灘区に足立 優歯科診療所開設。行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を展開する。

NPO法人  
明日の歯科医療を創る会  
POS 神戸相談室  
神戸市中央区元町三宮町3-1-5  
イソラディ5F  
TEL 078-332-4618  
FAX 078-332-4617

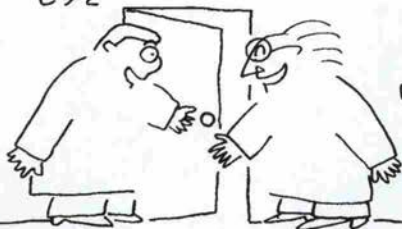


これで世界は平和になりますね



4

どうぞ



いや、おまえから

5

いえ、どうぞ



いやいや、おまえから

6

いえいえ、どうぞ



いやいやいや……

7

大学生がいる街で  
大学生と何かをする



中川啓子  
ミル製作室

右上：阪急六甲駅前の歩道橋。窓も天井も徹底的にふき掃除していく。

左上：終了後、通路に地域の子どもが描いた絵を飾るメンバーたち。

右下：都賀川公園でのまる洗い。あずまやなども磨いていく。

左下：参加者とメンバーの集合写真。みんなすっきりとした顔をしている。



平成15年からフリーのまち・地域活動のコーディネーターとなり、神戸の灘区と関わって「灘・まる洗いプロジェクト」の企画運営サポートをしている。これは灘区の公共施設を住民等の参加者がゴシゴシと楽しく洗う掃除系イベントである。これまでに阪急六甲駅前の歩道橋など3ヶ所で実施してきた。実行委員会は、企画を自主的に運営推進する17名のメンバーで構成されていて内12名が灘区にある神戸大学の学生（あるいは卒業生）である。会には他に7名のサポートメンバー（行政や市民団体など）がいる。神戸大学は学生数約1万6千人の大都市である。阪神・淡路大震災時のボランティア団体の活躍など、地域連携活動も多い。

今回のまる洗いについては私の知り合いの学生から口コミで仲間が広がって、現在のメンバーが構成された。彼らと接してみて分かったことは、実は地域と関わりたいと思っている学生も結構いる、ということだ。関わる方法が分からない、そんな学生たちに「まる洗い」はつながるきっかけをつくることができ、参加住民も学生との交流を楽しんだ。震災後、まちづくりに関わる学生は増加している。学生がいるだけでなく、学生と何かをする、そういう風景がこれからは広がっていく気がする。

神戸の  
モダン  
リビング

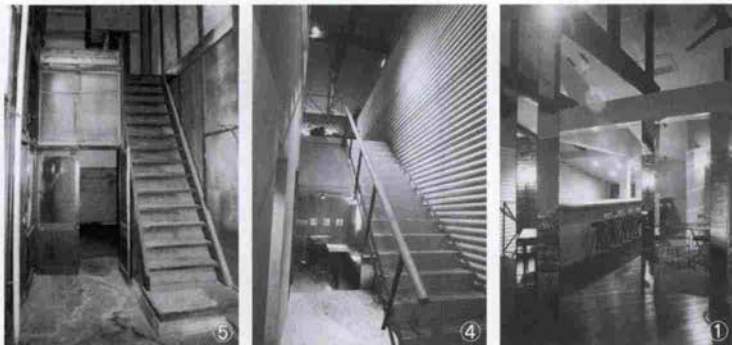
●女流建築家シリーズ

記憶に刻まれる場面④



矢代 恵

MEG建築設計事務所 主宰  
神戸松風女子学院短期大学非常勤講師



①②  
築70年余の町屋をレストランに改装。  
2階居室の天井を撤去し、時代を経た力強い丸太梁を現している。  
部分的に柱を建て直し、新しい素材と古い素材が出合い混在する。

③現代の素材を多く使ったレストラン1階のカウンターコーナー  
2階空間へのプロローグ。

④過去ー現代ー未来へと時を繋ぐ意味を込めて架けた、仮設的な金属階段。  
光の陰影がドラマチックな空気を醸し出す。

⑤リフォーム前の階段



建築をつくるとき、その建築が存在する場所性や歴史性を考える。場所が持つエネルギー、歴史に刻まれてきた記憶のエッセンスをすくい取り、現代の建築にちりばめることが出来ればと思う。

震災で多くの建築を失った神戸は、確かに物体としての歴史は失ってしまった。しかし、場における存在価値、その空間の中で過ごした時間や空気感、五感に響かせたものが人々の記憶の中に生き続ける限り、存在する意味は生き続ける。時代を経て、存在する建築は場の持つエネルギーを受け、刻まれた時間と共に過去ー現代ー未来へとつながっていく。古い建築が時代の流れと共にある役割を終えても、形を変え、新しい息割を吹き込むことで、新しい役割を得て再生し、次の時代へ歴史をつないでいくことは、変化の目まぐるしい現代社会において、益々大切なこととなる。建築において経済性、利便性、快適性、時間のバランスを考えることは必要不可欠だが、思慮なく簡単にスックラップアンドビルドされるのではなく、その価値を見出し次の時代へつないでいくことの大切さを、常に意識していかなければと思う。

壊すのは一瞬だが、美しいまちなみが出るのには多くの時間がかかる。過去の記憶を現代、未来へとつなぎ、古い建築を慈しみ生かし、新しい建築にも過去の記憶のエッセンスをちりばめる。目に見える美しさや利便性だけではなく、心に刻まれる記憶の場面を大切にして欲しい。

## 対談／国際派 キランが行く！ ③

# ネアカ、のびのび、へこたれず、 社会に開かれた大学で「人財」を。

中内 潤 (流通科学大学理事長)

キラン・S・セティ (株式会社インターナショナルコーポレーション取締役専務)



中内 潤 (なかうち じゅん)  
1955年岡山県生まれ。1978年慶應義塾大学法学部卒業。  
1980年株式会社イーエー入社。専務取締役、副社長などを歴任。2003年中内学園 (流通科学大学) 理事長に就任。

流通を科学するという理念のもと、ユニークなカリキュラムで産業界のニーズに適った人材を育成する流通科学大学。2003年には、中内潤氏が理事長に就任。2007年の創立20周年に向けた方向性などについて伺った。

### 「就社」から「就職」へ 人間性を育てる大学

キラン 理事長になられて一年半が経ちました。いかがですか。

中内 私の場合、ビジネスの世界からの転身でしたので、教育現場独特の雰囲気当初はやはり戸惑いもありました。大学では教員・職員・学生で、それぞれの世界があり、価値観も異なるわけですが、

それらをどう融和して大学全体のエネルギーに高めていくのか。それが私の役目です。大学は学生の才能、豊かな人間性を育てる場です。教職員はそれに協力する。それも明るく元気にやって欲しい、といつも言っています。

また「開かれた大学」と言いますが、これは社会に対して開かれてなければ意味がありません。そうでなければ社会に対する発言もできません。そういう意味で公開講座、学校施設の開放などには力を入れ、決算もすべて公表しております。

キラン アメリカの大学では寄付を求められれば、その使途を透明にすることを皆が求めています。それでなければ誰も寄付などしません。

中内 企業の人事担当者などに話を聞きますと、最近の学生は話がまったくなされていないと言われます。私自身感じることは、入学した大学一年生の中には、高校四年生の気分の人たちが多いように思います。それでは社会人としての自覚はいつ出てくるのかと見てみると、就職活動を始めだしてやっとなのです。それも、うわべだけで中身の伴わないものです。本学では、まず一年生の間に読み、書き、そろばんなど、いわゆる実社会に対応できる基礎能力を

みっちりやってもらおうと思っ  
ています。流通科学大学を卒業す  
る人には、最低限の社会マナーを  
身につけていてほしいのです。

**キラン** いまの時代、それは大事  
なことですよ。社会でも、家庭  
でも、様々な価値観が生まれ、良  
くも悪くも多様化し、ある意味今  
まで以上に混沌としている時代で  
す。そこで教育の場の担う役割は  
重要になってきていると思います。

**中内** 自由には責任があるとい  
ことを憶えてほしいのです。企業  
とのネットワークを広げていく  
かで、いま企業はどのような人材  
を求めているのかをよく聞きます。  
ほとんどの人事担当者の方は、知  
識は入社後につければ良いとい  
うのです。それよりも、人間の  
構築といったことは、入社以前に  
やっておいてもらわなければ困  
とおっしゃるのです。

またいまの学生は「就社」ばか

り考えています。良い会社に行く  
ことが目標になってしまっていま  
す。そうではなく、学生には目的  
を持って「職に就いて」ほしいの  
です。われわれも、そんな「就職」  
ができるように指導していくこと  
が大切だと思います。

**キラン** アメリカでは初対面で自  
己紹介をするとき、必ず会社名で  
はなく、「エンジニア」や「営業  
マン」などと自分の仕事を言いま  
す。日本では逆ですよ。まずど  
こに勤めているかからはじまりま  
す。

**中内** 卒業までに、社会に出て恥  
ずかしくない人間を育成するため  
にも、礼儀作法、躰、読み書き、  
そろばんなどは大切な基礎だと思っ  
ています。アメリカの大学なども  
厳しいところはあるのでしょうか？  
**キラン** 私はノートルダムを卒業  
したのですが、ここはカトリック  
系の学校で、もともと厳しい家庭

で育った学生が多かったのです。  
僕は寮に入っていたのですが、こ  
の寮長が牧師さんで、お酒を飲  
んでも、帰りが遅くなっても、何  
をしても怒られていましたね(笑)。  
でもこういった大学はアメリカで  
はかなり珍しいですね。ニューヨ  
ークなど都心部の大学ほど、自由な  
雰囲気は強いですね。

**中内** 我が国の学校教育は、永い  
間、知識を植え付けることに熱心  
でした。受験競争に見られるよう  
に、より多くの知識を獲得した人  
が優秀とされました。しかし、知  
識というものは、それ自体ではあ  
まり役に立ちません。知識を「知  
恵」に転換できる力があって初め  
て実社会に生きてきます。それを  
わたしたちは「実学」と呼んでい  
ます。大学の四年間は、知識を知  
恵に変えることを学ぶ力を養う四  
年間であって欲しいのです。

**キラン** 学生時代に面白い試験が  
ありました。いままで使った教材  
をすべて持って来いというのです。  
そして試験時間に調べて答える  
というのです。これは憶えるより  
難しかったですよ。調べる以上、  
正確に答えなければなりませんし、  
時間が限られているなかで、膨大  
な資料のなかから探し出さなけれ  
ばなりません。おっしゃ  
るようにいまの時代は、知識をど  
うすれば手に入れることができる

キラン・S・セティ  
1965年神戸生まれ。神戸大学経営学修士修得。株式会社  
ビッパード・インターナショナルコーポレーション取締役専務。  
神戸青年会議所45代理事長を務めた。





高学部、情報学部、サービス産業学部、大学院からなる流通科学大学

かという知恵がもっと大事なのですよ。

**中内** そうですね。どこにどんな情報があるかを知っていることが大事なのです。それに情報を手に入れる人的ネットワークをどれだけ多く持っているかは、その人の実力になりますからね。つまり「Know Who」です。大学の四年間は「考える」ことと「人的ネットワークの構築」に力を注ぐべきだと思います。

できてこそその教育

「人材」は「人財」

**中内** 私どもでは、いま「流通」という言葉を再定義しようとしています。変容する社会の中で流通を考えた場合「流通とは人々の生

活を豊かにする社会システム」だと思うのです。そういう意味では地球規模の社会システムです。

**キラン** 世界的に物の動きが簡単で、ダイナミックになっているのです。少し専門的な話になりますが、弊社も第三国同士の取引を日本にいながら行っていますから。

ダイナミックな流通が発展すればするほど、日本の複雑な流通もなくなっていくことでしょう。それにしても日本の大学は、アメリカと比べると留学生が少ないですね。留学生は貴重な人材です。留学生を増やしていくことで、一層のグローバル化が可能になると思います。

**中内** 留学生は世界中から来てほしいのですよ。そのためにもうちの大学そのものがしっかりしなければなりません。私は「人材」を「人財」といつも書いていますが、大学教育の使命は今後の知恵社会に対応できる能力を持った「人財」づくりにあると思うのです。人は宝ですから。学園長がよく言う言葉で「ネアカ、のびのび、へこたれず」というのがあるのですが、私はこれが大好きなのです。これを大学運営のキーワードにしようと考えています。私が目指しているところは、卒業生が自分の子供を流通科学大学に行かせたいと、思ってくれることなのです。その

ためにも我々は「面倒見の良い大学」を目指しています。面倒見とは学生に迎合したり、手取り足取りして教えるのではなく、厳しく教育して、その学生の将来に面倒見が良い大学にすることです。

**キラン** いまはそれが求められていることだと思いますよ。

**中内** 自分の経験上でも、怒られたことほど社会で役に立っていません。私の大学時代のゼミはとてめ厳しいところだったので。授業はスーツで出席しなければなりませんでしたが、ひとりずつ先輩がついて、ネクタイの結び方が悪ければ先輩も呼び出されて怒られるのです。加えて週二回レポート提出が決められていましたからね。何度も辞めようと思いましたが（笑）。教授は「辞めたい奴はいつでも辞めろ」と言っていましたから、悔しくて辞めませんでしたけどね。（笑）

また、いま流通科学大学では、クラブの加入率が42パーセントです。私はこれを50パーセント以上にしたいのです。クラブ活動を通して、先輩後輩との関係や、人間関係に必要なものを学ぶことができ、学生の満足度も高まりますからね。

**キラン** いま話題にもなっていない「坂田ジュニアゴルフ塾」でも、先生が同じように先輩と後輩両方

を叱っていますね。そうすること  
で双方に責任が生まれてくるので  
しょう。

**中内** 持論ですが、教育とは「で  
きて初めて成り立つ」ものだと思  
うのです。教えてそれで終わりで  
は教育にはなりません。学んだこ  
とを覚えてこそそのものだと思っ  
てます。そう考えると、例えばこ  
れまでの日本の英語教育はおかし  
いですよね。話せるようにならな  
ければ、語学の意味がありません。  
コミュニケーションのための語学  
なのですから。

**キラン** いますぐというのは難し  
いと思うのですが、十年後に二十  
歳になる日本の子供たちは、二カ  
国語以上のバイリンガルであって  
ほしいですね。

## 流通分野世界一の オンリーワン大学へ



2007年には設立20周年を迎える流通科学  
大学（神戸市西区）のキャンパスで

**中内** 二〇〇七年には創立二十周  
年を迎えるのですが、もっと先、  
五十周年に向けての夢を語って  
きたいのです。私たちはもう生き  
ていないかも知れませんが、五十  
年後にどういう大学になってほし  
いかを考えておくことが必要です。  
これからの時代「何で生きている  
大学」かという特徴がなければな  
らない。生き残るのではなく、勝  
ち残らねばならないのですから。  
**キラン** 五十年後、日本の状況、  
アジアの状況など考えてみるだけ  
でも楽しいことですよ。

流通科学大学は神戸の大学である  
以上、これからの「神戸のあり方」  
についても、ぜひ提案していい  
ほしいですね。

**中内** 私は神戸で育ちました。昔  
から思っていたのですが、大阪は  
何かにつけて東京を意識しますが、  
神戸には他の都市への対抗意識が

弱いのです。その分、独立心が強  
い。ただ震災後、その自信が揺ら  
いでいるのだと思うのです。いま  
一度、ももとの神戸の姿に立ち  
戻ってほしいのです。「神戸のま  
ちって何？」と問い直せるような  
プロジェクトが必要だと思えます。  
**キラン** 神戸には、神戸の付加価  
値が必要です。これからを考える  
と、流通・医療・IT産業がキー  
になってくると思います。いまは  
世界の流れそのものが大きく変わ  
りつつある時です。それだけに流  
通科学大学への期待は大きいもの  
です。

**中内** 震災でつくづく感じたのは、  
物の流れが止まることの怖さです。  
まさに流通は人の幸せそのものを  
支える、創り出すものなのです。  
わが神戸にある流通科学大学は  
「面倒見の良い大学」であり、「オ  
ンリーワン大学」になりたいと考  
えています。特にオンリーワン  
という意味では、この「流通」分  
野に関しては世界ナンバーワンを  
目指していききたいのです。また、  
就職に強い大学との評価もいただ  
いています。教育改革を通して  
さらに「ビジネス偏差値」の高い学  
生を輩出したいと思っております。  
大学とは「学ぶ幸せを教える機関」  
なのです。それを忘れずにやっ  
てまいります。



田崎 俊明 (たさき としあき)  
1957年 神戸生まれ。  
1980年 田崎真珠株式会社入社。  
1984年 社長室長。  
1986年 田崎興産株式会社代表取締役社長就任、現在に至る。  
1997年 田崎真珠株式会社常務取締役広報部担当就任。  
2003年 専務取締役マーケティング部長兼近畿圏カンパニー長就任、現在に至る。

次代を創る  
神戸のニューリーダー

23

田崎俊明

田崎真珠株式会社  
専務取締役

ニューヨーク、パリ、世界の成熟都市に、  
世界にTASAKIブランドの存在感を。

メダルラッシュで沸いたアテネオリンピック。女子サッカー「なでしこジャパン」の活躍も記憶に新しい。今年創業50周年を迎えた田崎真珠株式会社から5名の選手が選ばれ、その活躍ぶりに日本国内が熱くなった。2008年には、北京でオリンピックが開催される。田崎真珠株式会社でもサッカーのメダル獲得と共に、ファッションの発信拠点、上海をはじめとした中国市場への参入拡大のきっかけとなることに期待を寄せる。日本からアジア、そして世界の成熟都市に田崎ブランドを、田崎俊明専務の思いを伺った。



「TASA KIR ベルレFC」の5選手がアテネで躍動した

## 創立50周年の節目と なでしこジャパンの輝き

当社の女子サッカー選手数名が、「なでしこジャパン」としてオリンピックに参加し、市民の皆様からも大変な応援をいただいただき、本当にありがたいと思っています。メディアの注目度も高く、思わぬ好成績を残すことができて本当に良かったと思っています。

チーム結成は1989年。選手たちは、午後2時半まで会社で業務につき、2時半からは兵庫県吉川町の研修センターにあるグラウンドで練習をしています。仕事をしながら毎日の練習ですから、本当に大変なことだと思っています。「なでしこジャパン」に参加した選手たちには、「トリロジ」を

はじめとする我が社の商品をプレゼントしました。トリロジはオペラの「3部作」が語源ですが、過去・現在・未来と輝き続ける女性を象徴する三つのダイヤモンドが散りばめられたジュエリーです。まさに女子サッカー選手にはぴったりのテーマだと思っています。

当社は今年50周年です。そういう記念すべき年に、オリンピック選手として社員が選ばれたことは、素晴らしいことだと思っています。次の北京ではメダルに手が届くことでしょう。いまから4年後が楽しみです。

## アジア戦略を核に 世界の成熟都市に TASA KIRを

真珠とは生活必需品ではなく、潤いの部分を担当するものです。21世紀はアートなども含めて、こういった潤い部分こそが大切な時代だと思えます。21世紀初頭には、世界各地で戦争が起こってしまい、非常に残念です。しかしこれからは20世紀と同じ過ちは犯してほしくないのです。人の心を和ませるものが大切なのです。和みが人と人との関係を円滑にしてくれます。資本主義社会は競争社会ですが、だからこそ潤いが必要なのです。ワインに当たり年があるように、

真珠にも当たり年があります。我々もワインのヌーボーのように、取れたばかりの真珠を新珠とネーミングして売り出したこともありま。我々ももっとも大切にしているのは真珠そのものの品質です。ファッション性、デザイン性を重視するような論調もありますが、やはり品質がもっとも大切です。これは会社の基本姿勢であり、今後もしも守り続けていく理念です。時代の流れに左右されない完成度を求めていきたいのです。品質価値がベースメントにあつてこそ、デザインの意味合いも出てくると思っています。このスタンスが真珠の養殖などに反映している部分であり、ダイヤモンドを扱う場合でも、世界展開していくときの最優先事項にしています。当たり前のことなのですが、売り易さを優先してしまうと崩れてしまうのです。メーカーとしての当社の大きなポリシーですから、ずっと継続していかなければ意味がありません。「良いもの」はいつの時代でも「良いもの」なのです。本物という言葉はありふれていますが、その価値は変わらなぬものです。本物の基本価値を継承し、さらに発展させていかなければならないのです。

ダイヤモンドの透明感と煌めきは、宝石のキングと呼ばれるに相



応しいものです。そしてダイヤモンドがキングなら、パールはクイーンです。最近の当社の商品には、ダイヤモンドとパールをうまく組み合わせ、ひとつの作品のなかにデザインするものが増えてきています。個性が違うものだから、うまくデザインすると、お互いに生きてくるのです。新作コレクションのデザインにも、ダイヤモンドと真珠のネックレスというものがあります。新しいコーディネートを提案していくことが大切です。相反する、対照的だと思われる素材だから、うまくデザインするとお互いに映えてくるのです。そこに新しい発見があります。

今では海外の一流ブランドが入ってきており、企業の戦略が問われる中で、現在アジアにおける戦略が重要だと考えています。中国への進出は香港からはじまったのですが、台湾を含めると、いまや20店舗以上の店舗があります。市

場の大きさから言っても、今後どんどん店舗展開をしていく予定です。中国では歴代皇帝が真珠を愛用してきた歴史があります。だから比較的真珠は馴染みやすい宝石のひとつなのです。特に上海などは昔からファッション

が洗練されていますね。余力があればニューヨークやパリなど、世界の成熟都市に挑戦したいという思いはありますね。世界でTASAKIブランドの存在感を示したいです。

### 生活のあらゆる場面に真珠をとけ込ませたい

ファッションの傾向にも周期というものがあります。いまはエレガントでクラシカルな傾向が強いですね。ファッションですからそれぞれですが、相対的にクラシカル・エレガンスの傾向にあると言えます。正に真珠がもっとも喜ばれる傾向と言えます。

当社のミャンマー養殖場で生まれたミャンマーホワイトと呼ばれる真珠が、いま人気を集めています。ミャンマーホワイトには内側からわき出てくる輝きがあります。本当に濃い色をしています。真珠

の輝きは海からの贈り物です。真珠は宝石のなかで唯一有機物から生まれる珍しいものです。ミャンマーは宝石ではルビーが有名ですが、真珠も本格的に国を挙げて取り組んでいます。

あまりよく使われる表現ではないのですが、ヨーロッパの古いことわざに「目は顔の中の真珠」という表現があります。これは真珠が多様な魅力を持っていて、表情が豊かであるという意味で使われます。「目は口ほどにものを言う」というように、目は顔のなかでいちばん表情の豊かな部分です。その目と同じように、とても表情が豊かなのが真珠です。それがまさに真珠の魅力だと思っています。

これからの時代は、宝飾文化としてのライフスタイルまで提案していきたいのです。トータル的なファッションの演出をして、魅力的なストーリーをお伝えする。そして基本には本物価値です。素材としてのジュエリーの価値を追求していきたいながら、新しい提案をしていきたいですね。

TASAKIが提案した「トリロジ」が大変好評で、その第2弾が年末にはお届けできることになりました。過去・現在・未来を表すスリーストーンは、身につけている人の生活の輝きを表しています。過去の努力があつてこそ、現

在の輝きがあり、いまの輝きがあるからこそ、輝ける未来が待っているというストーリーが込められています。「トリロジー」にはダイヤモンドの持つ魅力が込められています。「トリロジー」というものが、長く当社の人気商品として定着して、さらに新しいデザインを提案していければと思います。



創業50周年記念パーティがホテルオークラ神戸で開催された

真珠といえばフォーマルのイメージがありますが、人それぞれのスタイルがあると思うのです。カジュアルとかデイリーといったいろいろな生活シーンにあわせたコーディネートがあるはずです。「このシチュエーションにはこのデザイン」とこのファッションにはこのパターン」といった細やかな提案をして



人気を集めるマンマーホワイト

いきたいですね。冠婚葬祭といったイメージに使われるだけでなく、生活のなかに真珠をとり込ませていきたいのです。その人の個性を引き立たせることができるものを、きちっとした形で提案しつづけたいですね。

ホットな話題を最後に。いまもっとも世界的に活動している音楽家である、ロリン・マゼール氏の活動をこれまで何度かご支援させていただきました。この秋には、銀座のジュエリータワー6階にシアターがあるので、そこで非常にプライベートな演奏をしていただけることになりました。私がパリまで直接伺ってお願ひしたのです。私がいままでいちばん力を入れてきたのは、クラシック音楽とのコラボレーションです。なかでも今回のロリン・マゼールとのコラボレーションは注目の演奏会となります。今までの交流が力となり音楽家の間でもTASAKIのことが評判となつて、シヨップにも有名な音楽家が多数お越しいただいております。



ポートアイランドにある田崎パールプラザにて

田崎真珠株式会社  
神戸市中央区港島中町6-1-12  
☎078-1302-1332  
<http://www.tasaki.co.jp>

話題のひろば

名門パークリー音大&甲陽音楽学院

## 真夏の音楽交流

3デイクリニック

フェニックスジャズフェスティバル



↑第10回「フェニックスジャズフェスティバル」のステージ。

パークリー3デイクリニックの様子。「キリング・ミー・ソフトラリー」のゴスペルアレンジを練習したヴォーカルクリニックをはじめ、各プログラムで積極的な姿勢の参加者たちが印象的。

ジャズ、ポップスなどの音楽教育の名門・パークリー音楽大学と単位交換制度を結ぶ甲陽音楽学院が、パークリーの教授を招いて開催する「パークリー3デイクリニック」が8月20日〜22日に開催、高校生や一般の参加者で賑わった。ヴォーカル、ピアノ、ドラム、木管楽器、イヤートレニング（聴音）など、本場で活躍するミュージシャンたちの音楽性を生で体験した若者たち。最終日の参加者全員によるジャムセッションなど、忘れられない3日間となった。

また、震災後から毎年開催されている「フェニックスジャズフェスティバル」が10回目を数え、8月29日神戸新聞松方ホールで開催。北陽高校ジャズバンドに続き、パークリー音大の学生選抜バンドの演奏、ランドール・コナースと小濱安浩らのスペシャル編成グループによるサックスパトル、サルサ、ボサノバなどのゲストミュージシャンたちのステージが、会場を沸かせた。最後はパークリー教授陣のぜひいたくなアンサンブル。ドナ・マクエルロイの迫力のヴォーカルで、大歓声の中終了した。



## 話題のひろば



洋画家・故鴨居玲氏とありし日の衣笠社長



(左上) 衣笠廣子夫人を囲んで

(左下) しのぶ会芹澤委員長と

(右下) あいさつする衣笠専務

## さようならコマツヤ社長 衣笠悦三さん 神戸ファッションをリードして

センター街のブティック「コマツヤ」の衣笠悦三社長が、8月13日病に倒れ他界。9月21日、神戸ポートピアホテル和楽の間において「お別れする会」が開かれ、約200名が集って衣笠社長と別れを惜しんだ。

全員が献花。黙祷のあと、ブティック「セリザワ」の芹澤豊男会長があいさつ。故人をしのいで、三宮センター街二丁目振興組合理事長久利計一さんと神戸地下街株式会社常務取締役河合修さんがメッセージを。献酒杯は、アトリエ・エスの斎藤奈良夫社長が。

遺族を代表して長男の衣笠元基専務が御礼のことは。「父は、新しいことに挑戦しろ、といつも口ぐせのように言っていました。このたび、ハーバーランドの神戸阪急2Fに9月18日に新店しましたのも、そんな父の言葉に押されての出店です」と、神戸ファッションのリーダーとして活躍した故衣笠社長らしい言葉をこ子息から聞いて、心強い限り。

コマツヤファッションショーを昭和39年より毎秋20回続けた故衣笠社長の、オリジナル発表の意気込みを、二代目も受け継いでほしいものである。



## 「鯉川山手街づくり会」総会 来年は新しく シャンソンイベントも企画



みんな元気な「鯉川山手街づくり会」の懇親会（於・郡愛飯店本店）

鯉川山手街づくり会（施  
連華会長）の平成16年度の  
総会が、9月7日（火）午後4  
時よりラッセホールに於い  
て開催された。

平成15年度は、10月にコー  
プ山手南角でブラジル音楽  
ショーロの模擬演奏協力、  
11月はクリスマスツリーを  
同地角で設置。鯉川山手大  
抽選会と年末の売出しを盛  
り上げた。

平成16年は4月24日（日）  
「第3回鯉川山手アーバン  
フェスタ」開催。ポンテペ  
ルレ2004（競技委員  
長・山口和久歯科医師）の  
チェックポイントに鯉川が  
例年通り、約百台のクラシッ  
クカーがパレードし、西田  
ひかる夫妻、掛布雅之元プ  
ロ野球選手も参加され大盛  
況。さらに華僑総会舞獅隊  
による中国獅子や、フリー  
ダムのバンドライブ、ブラ  
ジルショーロのライブ演奏  
が花を添えた。

花と緑の回廊計画にも参  
画。街並の植樹を会員たち  
が手植えて育てて花咲く  
ストーリーづくりに懸念だ。

収支決算報告の後、平成  
16、17年の事業計画は、10  
月末からCCB工事着手。  
電柱が、中部土木の手で埋  
没され来春3月に完了。4  
月上旬震災復興10年イベン  
トに「第4回アーバンフェ  
スタ」開催と、村上美穂さ  
んから震災10年特別イベン  
ト「シャンソン大好き」み  
んな集まれシャンソンを歌  
おうの開催案が出る。

総会後は郡愛飯店で交流  
会、カラオケ大会もあり大  
いに盛り上がった。



山田耕司さん

# 知りたいお店の情報がすぐに分かる フレッツ・スポットが 元町商店街でスタート

「まずは、元町3丁目で設置

をすることにしました。しかし、どうせやるのなら元町商店街全丁で利用出来ないものかと

考えました。まだ立ち上げたばかりなので、今後、どのように有効活用していくかが課題です。

元町商店街にN T T西日本によりフレッツスポットアンテナが設置され、1番街から6丁目までの商店街アーケード内なら、ノートパソコンやPDA（携帯情報端末）にLANカードを差し込むだけで、いつでもインターネットにアクセス出来るフレッツスポットが利用出来るようになる。

従来、フレッツスポットは、駅周辺やホテルのロビーなど、狭いエリアでの利用に限られていましたが、元町商店街全丁約1・2キロに及ぶ広域エリアでの利用は兵庫県でも初の試み。

「まずは、元町3丁目

をランチタイムなどの情報をタイムリーに提供する。他にも、救命救急ステーションなどの防災情報などのアイテムも加えて行きたい。また、山田さんはお店の紹介だけでなく、商店自身の意識の高揚にもつながっていくのではないかと考えている。

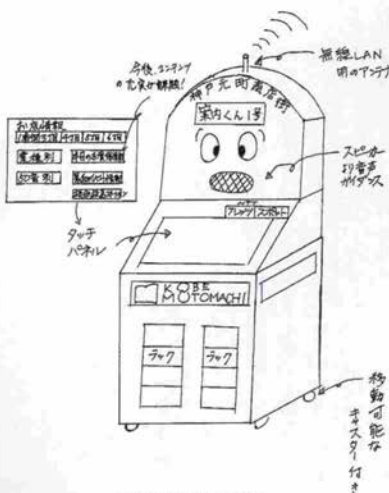
「インフォメーションBOXでの情報はタイムリーなものであることが前提です。ある店舗がバーゲンや商品の情報を積極的に打ち

将来的には、元町商店街のインフォメーションセンターとして、フレッツ・スポットを利用して商店街の情報や元町商店街を訪れるお客様に見てもらえる様なインフォメーションBOXのような物が設置できればと考えています。

具体的には、刊行物などを入れるラック上に、タッチパネル式のディスプレイを設け、店舗を業種別で検索したり、毎日のバーゲン

を出していくことにより、他の店舗を刺激していく、コンテンツに関しては力が入ったものが派生的に広がって行くような気がします。いまや商品がインターネット上で取引される時代ですから、そのような意味でも店舗全体の意識の向上につながるかと考えています。

今年、130周年を迎えた元町商店街では、これからの方向性について、様々な議論がなされてきました。が、アクションプランを、現実のものとし、一日の利用者が10人から1000人となり、200人に増えて行く。元町商店街の試みが、新たな商店街のモデルケースとして、全国の商店街に一石を投じるような方向性を示していきたい」



山田さんが提案するインフォメーションBOXのイメージ図



## 陶器・陶芸の美術館が来年秋オープン 「県立陶芸館（仮称）」について

お話を伺った方

兵庫県参与・兵庫県立陶芸館（仮称）開設準備委員長

乾由 明さん



乾由 明さん

日本六古窯のひとつである丹波（篠山市今田町）に、平成17年秋「兵庫県立陶芸館（仮称）」が開館します。京大名誉教授、前金沢美術工芸大学学長で、館長に就任される予定の乾由明先生にお話を伺いました。

◆「県立陶芸館（仮称）」が開館に至った背景をお話してください。

丹波は、約800年という古い歴史を持つ陶芸の里ですが、まとまった美術館がありません。このため、地元の方々を中心に、10年前から構想が練られていました。丹波には既に「陶の郷」という施設があり、日常的な陶器や伝統工芸品を展示していますので、新しくできる「県立陶芸館（仮称）」は、芸術的なやきものなど、一流の作品をみなさんに見ていただく魅力いっぱい陶芸美術館にしたいと考えています。

◆陶芸美術館として、どのような作品を展示し、活動を行われる予定ですか。

展示は、名品のコレクションを中心にした古い丹波焼の作品と、現代の陶芸作品を2本の柱にしたいと考えています。現代の陶芸作品は、有名・無名に関わらずすぐれた作品を収集していきたいですね。兵庫県内には丹波焼だけでなく、三田焼や出石焼など、たくさん伝統的な窯があります。それらを受け継ぐ人が少なくなっていますので、調査を行い、埋もれた作品を発掘していくことも重要だと思っています。

また、あわせて陶芸に関わる人材を育成します。

「陶の郷」は、初心者の方が作陶できる陶芸教室や、今では珍しくなった登り窯などがあり好評で

す。新しい陶芸美術館は、陶芸の経験者が、もっと専門的な技術を身につけたり、陶芸を職業にしたい若い人たちが学んだりすることができる研修施設にしたいと考えています。次代を担う作家を育成するために、県外から作家を招くことも計画しています。陶芸を通じた人と人とのコミュニケーションの場を提供し、訪れる人に心を通わせてもらえるような施設をめざしています。

さらに、篠山市今田町は、自然の豊かな場所です。建物は、白を基調に、なるべく自然を残し、自然にうまく溶け込めるようなものにしていきます。いわば、この地域全体が美術館として、集落全体を見てもわかることができるもので、エコミュージアムをイメージしています。決して大きな施設ではありませんが、小さくてもユニークで特色ある企画や展示を行っていくようと考えています。

### 【第3回県立陶芸館（仮称）所蔵品展】

～丹波焼の技と伝統をひきついだ人々～

会期：平成16年10月2日（土）～10月20日（木）  
（木曜 休館）

場 所：丹波伝統工芸公園 立杭「陶の郷」

篠山市今田町上立杭3

TEL079-159712034

入場料：立杭「陶の郷」への入園には、一般20

0円、小中学生50円が必要

なお、10月16日、17日の陶器まつり期間

中は無料

問い合わせ先：県芸術文化課

TEL078-136213165

# 丹波焼のふるさとに 兵庫県立陶芸館(仮称)オープン

楽しみながら  
陶芸ワークショップや  
陶芸文化講座で  
学びながらできます

丹波立杭の里に  
陶芸美術・文化の  
発信交流拠点として  
オープンします!!

次代を担う  
作業を  
養育するんだ

レストランや  
ミュージアムショップ  
茶室もあるよ

古く丹波焼も  
現代の作家の作品も  
見ることが出来る



# 有馬歳事記

人形作家 ジョン・ブランダー氏講演

「まずストーリーを創って、

それがその人形の個性を創る

人形にも気持ちがあるのです……」

1966年の初放映から、日本でも根強い人気を誇る人形劇「サンターバード」。有馬玩具博物館では「サンターバード」に登場する人形やメカニズムの造型を紹介する特別展「サンターバード・アート展」を開催している。9月11日には「サンターバード」の名脇役・パークの人形制作者であり、操演も担当していたジョン・ブランダー氏の講演会が、念仏寺で開かれた。ブランダー氏は、あやつり人形の世界的な権威であり、長年の功績から英国UNIMA（国際人形連盟）の名譽会長でもある。

ジョン・ブランダーさんは、世界の人形劇に興味

をもち、とりわけ日本の人形浄瑠璃、能面など日本文化に大きな影響を受けたという。講演会は、鼓と謡の演奏で幕を開けた。長田区在住の能面制作者の故・鈴木能仁さんとブランダーさんは、能仁さんの生前に深い親交があり、能仁さんの弟子である真弓能裕子さんが、講演にさきがけて能面のお話、世界のマスク

（仮面）のお話を披露。

続いてブランダーさんの講演が。「人形づくりの源となったのは、能や浄瑠璃など日本文化に影響を受けた。半分は日本から影響を受け、半分は私自身が作った」。鈴木能仁さんとは「言葉が通じなくても、たくさんのことを学び、わかりあえた。それは人形の力です」と。「人形、マスク



バペットを操作するブランダーさん



能面とマスクについて紹介する真弓能裕子さん(左)

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛  
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)  
URL <http://www.hyoe.co.jp>

有馬温泉 月光園

GEKKOON  
K O R O K A N  
湯 籠 館

TEL (078) 903-2255  
姉妹旅館 湯月山荘  
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり味に集う  
ARIMA

SUNNY SIDE UP  
TENNIS CLUB  
TEL (078) 903-1024

稱 律 有馬  
壱 所 坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつまれた  
くつろぎの宿

国際観光旅館

923 966  
陵 楓 閣

TEL (078) 904-0675



を使うことは、人を愛し、マスクを愛し、人形を愛することです」。

ブランドールさんは人形制作者であり、すぐれた芸術家でもあるので、そのお話は精神世界に及び、講演中、通訳を担当する方は非常に苦労していたようだ。

それでもブランドールさんが人形をとりだし、ひとたびそれを動かかしはじめると、私たちは、すっかり世界のめりこんでしまう。

「サンダーバード」撮影中のお話では、パベツト（人形）の手足が大理石でできていてとても重かった

ことなどの苦労話も。ところで、人間よりも人間くさい、非常に個性的なパーカー人形については「もっとぶつうに、もっと人間に見えるように作ってほしいとテレビ局に言われたが、私はそれには同意しなかった。

美しくできた人形は作られすぎたものになり、その人形からは歴史もドラマも生まれない」と。「まずストーリーを想定して、人形を作り、そして個性をつくる」というブランドールさんの

作ったパーカー（の一人）が有馬玩具博物館にある。このパーカーのストーリー

は、スコットランドに釣りにきたという想定とか。

参加者からは「人形とケンカすることはありませんか」という質問も。それに対し「Every Time」とブランドールさん。

「人形にも、気持ちやそういったものがあって、しかしステージでは私の言う通りにしてもらわなくてはいけないのだけれど。だからリハーサル

の

終わりには、人形に話しかけますよ」。

ブランドールさんは、これからも「教えること、学ぶことを続けていきたい」と話した。

「サンダーバード・アート展」は、12月13日(月)まで有馬玩具博物館で開催されている。10月3日・17日・31日には、サンダーバード

の人形制作にたずさわる坂本健二さんが来られ、人形制作実演も行なわれる。

■有馬玩具博物館

有馬温泉「金の湯」向かい

☎078-9003-6971

http://www.arima-toys.jp

大人(中学生以上)1000円

小人500円

3歳未満無料

9:30~18:00

第2・3火曜休館



「サンダーバード・アート展」は12月まで有馬玩具博物館で開催中

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろり亭「楽」で!!  
(昼5000円〜、夜8000円〜)  
有馬温泉 政府登録国際観光旅館  
銀水荘別館

54394  
**北楽**

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

**古泉閣**

TEL (078) 904-0731

日本の伝統  
数寄屋造りの館

**欽山**

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00  
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅たようくつろぎの館

**中の坊珠苑**

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで  
**有馬グランドホテル**

TEL (078) 904-0181